

## 調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mlのときの果汁の量を書く問題や交流会の遊びについて、1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く問題、辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかくことができるプログラムを選ぶ問題などが出題されています。

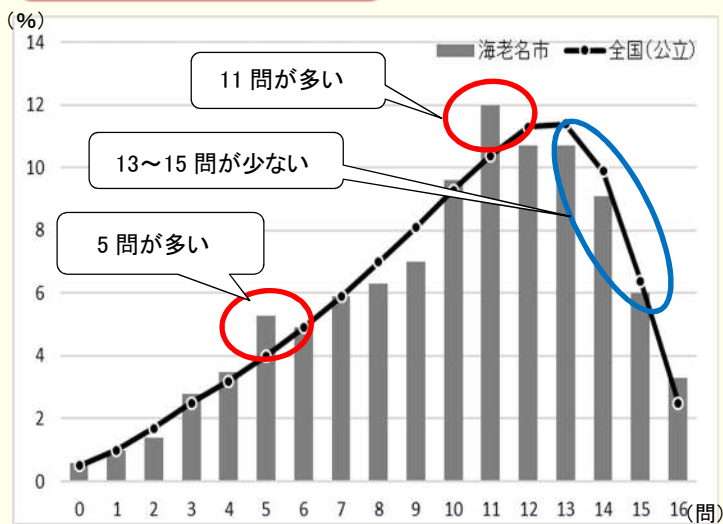
## 全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	62.6%	64.0%	63.2%	-0.6
平均正答数	10.0問 / 16問	10.2問 / 16問	10.1問 / 16問	-0.1

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

## 正答数分布グラフ

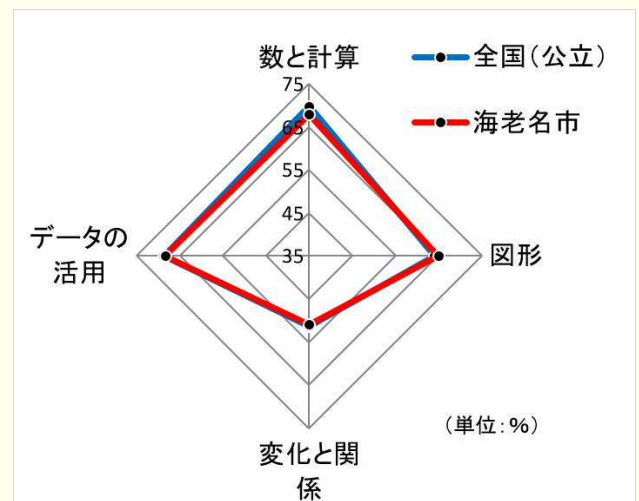
(横軸:正答数, 縦軸:割合)



- \* 正答率 50%以下(0~8問)の児童の割合は 31.7%です。【全国は 30.7%】
- \* 正答率 80%以上(13~16問)の児童の割合は 29.1%です。【全国は 30.2%】
- \* 中央値は 11 問です。【全国も 11 問】

中央値…正答数を大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。

## 学習指導要領の領域等の平均正答率



「数と計算」の領域は、全国と比較して、やや下回っており、差が一番大きくなっています。

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率 (%)			平均無解答率 (%)		
			海老名市	全国(公立)	全国との比較	海老名市	全国(公立)	全国との比較
学習指導要領の領域等	数と計算	6問	67.9	69.8	-1.9	3.5	3.4	0.1
	図形	4問	64.9	64.0	0.9	6.1	4.6	1.5
	変化と関係	4問	50.9	51.3	-0.4	3.0	3.5	-0.5
	データの活用	3問	68.4	68.7	-0.3	1.9	2.0	-0.1
問題形式	選択式	6問	52.4	51.8	0.6	3.4	2.6	0.8
	短答式	6問	75.8	76.5	-0.7	3.2	2.9	0.3
	記述式	4問	58.3	60.2	-1.9	5.5	5.8	-0.3

## 海老名市の結果についての分析

- 今年度も平均正答率、平均正答数、中央値を見ると、全国と比べて大きな差は見られません。
- 平均正答率が全国を上回った問題は、16問中7問です。また、平均正答率が80%以上の問題は、16問中2問(全国も2問)です。
- 問題形式から見ると、「選択式」の問題は6問中4問で全国の平均正答率を上回っていますが、「記述式」の問題の平均正答率は、全国と比べ全体的に下回っています。
- 無解答率が全国より高かった問題は16問中10問です。

## 全国の上答率と差が見られた問題の例

小学校算数のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

(3) 次に、くるみさんは、カップケーキの個数を7個にそろえて考えることにしました。

【くるみさんの考え】

Aセットのカップケーキ7個分の値段  $1050 \div 2 = 525$  525円  
Bセットのカップケーキ7個分の値段  $1470 \div 3 = 490$  490円  
カップケーキ7個分の値段は、Bセットのほうが安くなります。



Aセットのカップケーキ7個分の値段を、 $1050 \div 2$ で求めることができるのはどうしてですか。

ゆうとさんは、Aセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1050 \div 2$ 」で求めることができるわけについて、下のよう説明しました。

【ゆうとさんの説明】



1列のカップケーキが7個ずつ2列あります。2列の値段が1050円なので、1050を2等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができますからです。

Bセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1470 \div 3$ 」で求めることができるわけについて考えます。そのわけを【ゆうとさんの説明】と同じように、言葉と数を使って書きましょう。

### 1 (3) カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書く

趣旨 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる

【正答の条件】 次の①、②の全てを書いている

① カップケーキが3列あることを表す言葉と数

② 1470円を3等分することを表す言葉と数

【正答例】 1列のカップケーキが7個ずつ3列あります。3列の値段が1470円なので、1470を3等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができますからです。

◇この問題の上答率

海老名市 69.4% 全国(公立) 76.0%  
(全国との比較 -6.6)

## 考察

- 被乗数に空位のある整数の乗法の計算を正しく処理したり、百分率で表された割合を分数で表す際に約分をして表したりするなど、基礎・基本がしっかりと身に付いています。
- 問題場面の数量の関係に着目して考察することや求め方や理由を記述することに課題があり、指導の工夫が求められます。

## 指導の改善にむけて

### ◆理解を深めるために

- 計算で求めた結果と生活経験をもとにした判断を関連付けて考え、日常の具体的な場面に対応させながら理解していくことができるよう指導します。
- 答えを見積もったり、考えをふり返ったりする機会を意識して取り入れ、児童が主体的に答えや考えを検討していくことができるよう指導します。

### ◆考えを表現できるようにするために

- 引き続き、算数的な用語を使いながら順序立てて説明することを意識させ、児童同士が考えを伝え合う場面を取り入れながら、考えを伝え合うよさや楽しさを感じることができる授業づくりを行います。